

清流の国ぎふ 防災・減災センターの開所式を行いました

平成27年4月1日(水)

岐阜大学と岐阜県は、共同で大学構内に「清流の国ぎふ 防災・減災センター」を設置し、開所式を行いました。センターは防災・減災に関わるシンクタンク機能を担い、人材育成や市町村・企業への技術支援、調査研究などを行います。開所式ではセンター長の杉戸真太理事が「県と大学が共同して防災・減災に取り組み、災害死者を半減できると考えています。積極的に事業展開していきたい」とあいさつしました。



グローバル推進本部のキックオフミーティングを開催しました

平成27年4月1日(水)

地域に根ざした国際化を推進するため「グローバル推進本部」を発足し、キックオフミーティングを開催しました。この組織は森脇久隆学長のリーダーシップのもと、教職員約20人で構成され、グローバル化に関する企画立案やIR機能を担います。海外の協定大学と連携し、インターンシップの受け入れをはじめする就学・就職支援を進め、現地企業の協力も得ながら海外法人で活躍できるリーダーを育成します。



平成27年度入学式を行いました

平成27年4月7日(火)・10日(金)

平成27年度入学式を4月7日(火)、長良川国際会議場で行い、学部学生1,352人、大学院学生586人が入学しました。学部入学生への告辞で森脇久隆学長は「日本社会や国際社会に貢献できる人材になる、という志を抱いていただきたい」、大学院入学生には「高度職業人として将来を見つめる、または研究者として夢を持ち続ける大学院生に」と激励しました。入学生を代表して工学部の吉川昇吾さん、連合創薬医療情報研究科の則定純平さんがそれぞれ宣誓を行いました。また4月10日(金)には、岐阜大学講堂にて平成27年度大学院連合農学研究科、同連合獣医学研究科の入学式を行い、併せて45人が入学しました。



応援奨学生への決定通知書交付式を実施しました

平成27年4月8日(水)

岐阜大学では平成22年度から「岐阜大学基金」事業の一環として、人物及び学業成績に優れ、他の学生の模範となる学生に奨学金を支給する「応援奨学生」の制度を実施しています。今年度も各学部、研究科からの推薦を受けて25人の応援奨学生が決定し、交付式で森脇久隆学長から通知書が手渡されました。代表して教育学研究科の木村友里恵さんが「夢のために最大限、有効に活用したい」と抱負を述べました。



「第7回学生金型グランプリ」で優勝！学生チームが学長室を訪問しました

平成27年4月24日(金)

「第7回学生金型グランプリ」において岐阜大学の学生チームが「プレス金型部門」で金賞、「プラスチック射出成型金型部門」で銀賞を獲得し、学長室を訪問しました。この大会は課題を受けて学生が金型や成形サンプルを製作し、工程を発表するもので、専門家や現場社員が審査を務めます。学生は「アイデアを持ち寄るなど協力したことが結果につながりました」と報告。森脇久隆学長は「2年連続受賞は素晴らしい。胸を張ってください」と称えました。



オープンキャンパス2015を開催しました

平成27年8月7日(金)・10日(月)・11日(火)

今年も3日間にわたってオープンキャンパスを行い、高校生やその保護者など、約5,900人を動員しました。各学部では学科(課程)の紹介や模擬講義、体験実習、施設見学や入試説明などを実施。最先端の研究、キャンパスライフに触れた参加者たちは目を輝かせていました。また、学生によるキャンパス案内や教職員や学生への相談コーナーなども開催し、様々な角度から岐阜大学の魅力を伝えることができ、盛況のうちに終了しました。多数のご来場ありがとうございました。



第64回東海地区国立大学体育大会で女子の部が総合優勝しました

平成27年5月16日(土)～7月12日(日)

岐阜・静岡・愛知・三重にある国立大学間では毎年「東海地区国立大学体育大会」が開催され、陸上や水泳など20種目を競い合います。岐阜大学からは本年度、約400人の学生が19種目にエントリー。各団体の健闘によって、男子・女子ともに4種目において優勝し、女子の部は見事、総合優勝、男子の部は総合2位を勝ち取りました。前回大会では男子・女子ともに総合優勝を果たし、女子の部は連覇を達成しました。



創立記念日行事を開催しました

平成27年6月1日(月)

学生、卒業生、教職員など約150人が出席し、講堂にて創立66周年の記念行事を開催しました。学長報告では森脇久隆学長が「岐阜大学の現状と方針について」と題して地(知)の拠点整備事業、金型創成技術研究センター、南アジア5カ国との国際コンソーシアム、救急医療などを紹介。プレゼンスを一層高めることで地域、国、世界への貢献を明示する必要があると話しました。また今後の方針として「第3期以降に向けての将来ビジョン」を説明しました。



The 4th UGSAS-GU Roundtable & Symposium 2015を開催しました

平成27年8月25日(火)～27日(木)

岐阜大学大学院の連合農学研究科と応用生物科学研究科、静岡大学総合科学技術研究科農学専攻が主催し、南部アジア農学系博士課程教育連携コンソーシアム加盟校14大学が参加する中で、岐阜市にて「The 4th UGSAS-GU Roundtable & Symposium 2015」(第4回農学系博士教育国際連携円卓会議&農学系研究国際シンポジウム2015)を開催しました。25日は加盟校の総勢91人が「農学系博士教育の質の保証と社会貢献の向上を目指す国際連携活動」の進捗状況を報告し、26日には海外で活躍する若手研究者によるシンポジウムを開催しました。最終日には留学生の教育・研究・生活環境の視察とインダストリー部会参加企業の天野エンザイム株式会社岐阜研究所の見学会を行いました。



第45回岐阜大学フォーラムを開催しました

平成27年6月1日(月)

講師に日本学術会議会長で豊橋技術科学大学長を務める大西隆氏を招き、岐阜大学フォーラムを開催しました。大西氏は、国立大学が直面する財政難や人口減少社会の影響について、社会人学生や海外留学生の増加、大学進学率の上昇などの抵抗策や打開策を提示しながら講演されました。また、将来ビジョンとして民間・公的資金の受け入れによる財源の多様化など、積極的な国立大学へ転換を図る必要性を話されました。



「アカデミック・コモンズ」のオープン記念式典を挙行了しました

平成27年6月1日(月)

学生の能動的な学習をさらに推進・支援していくために「アカデミック・コモンズ」を整備し、オープン記念式典を挙行了しました。この施設は、学生が自主的に議論や興味探究をすることができる「アカデミック・コア」、学生の対話を重視した授業を行う「アクティブラーニング教室」、30台以上のパソコンなどを備えた「メディア・コモンズ」から成ります。岐阜大学のモットーである「人が育つ場所」の確立を目指します。



平成27年度文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択され、協定を締結しました

平成27年10月16日(金)

岐阜大学は文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択されました。この事業は、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的に、大学が地方公共団体や企業等と協働し、学生にとって魅力ある就職先を創出するとともに、地域が求める人材養成に必要な教育カリキュラムの改革を断行します。岐阜大学の事業名は「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」。岐阜県をフィールドに自治体や企業等と協働しながら産業界との関わりを強化して、地元就職とUターン就職を推進します。

本事業を実施するに当たって、岐阜大学、中部学院大学、中部大学及び日本福祉大学と岐阜県は、各大学が地(知)の拠点としてそれぞれの強みを生かし、岐阜県内で活躍する人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化を促進させて地方創生を図ることに合意し、10月16日(金)に協定を締結しました。



「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」に関する協定を締結しました

平成27年8月5日(水)

岐阜大学が代表機関となり、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アビ株式会社と「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の共同実施に関する協定を締結しました。この事業では、「研究者の地域循環型育成」の創造を目指して、女性研究者(技術者)を対象にしたインターンシップ制度の構築や人財バンクの共同利用を進め、就職支援や上位職・学位の取得に向けた環境整備、復職支援を行います。



Uta-Tube in キャンパスが岐阜大学で開催されました

平成27年9月8日(火)

NHK名古屋放送局制作の音楽番組「Uta-Tube」の公開録画が構内で行われました。当日はシンガーソングライターの「ハジメ」と岐阜県出身のロックバンド「cinema staff」が講堂でライブを行う様子を収録。このほか「教育学部山田敏弘教授によるミニ講義」、「学生とゲストのトーク」などのコーナー収録に加え、医学部附属病院の学生食堂や農場なども撮影。9月と10月にNHK総合テレビで放映されました。

